

地方公共団体名	北海道 滝上町
所属部局	まちづくり推進課
担当者名	担当：課長 伴 久
地域の抱える課題	<p>【環境・脱炭素に関する課題】</p> <p>木質バイオマス利活用を核として「地域脱炭素」の取組を推進してきた。廃棄物系・未利用バイオマスの有効活用を進め、目指すべき将来像を実現するため、滝上町バイオマス産業都市構想を更に加速化させていきたい。また、町内の一定のエリアを脱炭素エリアとしてモデル地区の構築を図りたい。</p> <p>①町内主要施設にてバイオマスボイラーを導入し、エネルギーの地産地消と自給率の向上を図り域内での資源価値を改善させる。</p> <p>②町内産バイオマスエネルギーの高効率利用を検討し、また蓄電池と組み合わせることにより災害発生時等の電熱源として機能させる。</p> <p>③町内の未利用または半未利用の食品廃棄物をバイオマスエネルギーとして利用する取組を検討する。</p> <p>④上記①②を核として、町内の一部エリアをバイオマスエコタウンとして整備し、町内におけるモデル地区とする。</p> <p>【同時解決したい地域の課題】</p> <p>①本町の人口減少や高齢化、地域の産業における人材の不足が喫緊の課題である。</p> <p>②観光産業は、新型コロナウイルス感染拡大に</p>

	<p>より、危機的状況にある。脱炭素に向けた施策と連動しながら、地域経済の活性化に結び付けていくかが課題である。</p> <p>③森林資源の新たな価値の創造を目指した取組を進め、温室効果ガス排出削減に寄与する J-クレジット制度の周知と利用促進が課題である。</p>
事業の目的	木質バイオマス利活用を核として「地域脱炭素」と「地域活性化」の課題を解決するゼロカーボンバイオマスタウン滝上の構築
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・町内主要施設へのバイオマスボイラーの導入 ・小型木質バイオマス CHP 装置の導入 ・食品廃棄物等小規模バイオガス化検討 ・木質バイオマスを核としたバイオマスエコタウンモデル地区構築
企業に求めたい内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を進捗させるための、専門的知識の提供及び事業間連携。各種財源等を伴う事業性を考慮した地域貢献としての取組への支援 ・本町の新たな再生可能エネルギーの資源掘り起こしと活用の取組への支援